

## 「知多半島公共交通シンポジウム」の開催について(報告)

知多半島の持続可能な公共交通の実現を目指した枠組みとして「知多半島公共交通センター協議会」(仮称)を考えるシンポジウムが開催されました。事務局も参加し、町の取り組みの事例紹介を行いましたので、このシンポジウムの内容について報告します。

### 1 開催日時、場所

2024年9月26日(木) 14:30~16:50  
半田市 市民交流センター

### 2 参加者

知多半島の多くの自治体  
中部運輸局  
知多乗合株式会社はじめ交通事業者  
名古屋大学大学院環境学研究科加藤教授はじめ学識経験者

### 3 内容

#### 1 話題提供

「地域公共交通の現状と課題」 愛知運輸支局

#### 2 事例紹介

- ①「デマンド交通の導入事例」 (株)アイシン
- ②「電子チケットの活用例」 名古屋鉄道(株)
- ③「事業者と連携した地域交通再編」 東浦町
- ④「エッセンシャルドライバー向け安全運転講話」 (有)知多自動車学校

#### 3 基調講演

「持続可能な知多半島の公共交通を目指して」 知多乗合(株)

#### 4 パネルディスカッション (コーディネーター名城大学松本教授)

「知多半島の理想の移動手段に対して、変わるべき公共交通の姿と知多半島公共交通センターに求められる役割について」

### 4 東浦町の事例紹介

ダイヤ改正の内容を中心に、地域公共交通利便増進実施計画に記載されている民間事業者との連携強化や推進事業について発表しました。